

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー






南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/5 (6/28との比較)	7/5 (6/28との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.57% (+0.11)	82.92円 (+0.73%)	+1.3% 2019年1Q	1.75%	発表された製造業PMI（購買担当者景気指数）は前月を僅かに上回った他、国際商品貿易は市場予想を上回る内容。原油価格は下落したものの市場のリスクオンの傾向もあり、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	住宅着工件数などの住宅関連指標が発表予定。原油価格の動向や、FOMC（米連邦公開市場委員会）を控えFRB（米連邦準備制度理事会）高官の発言などに注目が集まる中、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	6.43% (▲0.19)	28.39円 (+1.27%)	+0.5% 2019年1Q	6.50%	発表された製造業PMIは前月を上回り、鉱工業生産は市場予想を上回った一方、貿易収支は市場予想を下回る内容。下院で年金改革法案が可決されたこともあり、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	小売売上高などが発表予定。引き続き年金改革を巡る動きや、米国を中心とした各国の金融政策などに注目が集まる中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.28% (▲0.10)	5.70円 (+1.66%)	+1.3% 2019年1Q	8.25%	発表された消費者信頼感指数は市場予想を下回った他、製造業PMIは20カ月ぶりの低水準となる内容。リスクオンの傾向にある中、メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	CPI（消費者物価指数）や鉱工業生産などが発表予定。米国との通商問題については楽観的な展開が予想されることもあり、メキシコペソは底堅い推移を予想。
	A3	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/5 （6/28との比較）	7/5 （6/28との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.28% （▲0.04）	75.71円 （+0.01%）	+1.8% 2018年4Q	1.00%	発表された小売売上高は市場予想を下回ったものの、製造業PMIは前月比で改善した他、貿易収支は市場予想を上回る内容。中銀が市場予想通り利下げを決定する中、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	消費者信頼感指数や企業景況感、企業信頼感などが発表予定。金利水準が相当程度低下し更なる低下余地が小さくなる中、為替水準および金利水準は底値を探る展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	1.51% （▲0.05）	71.90円 （▲0.77%）	+2.5% 2018年4Q	1.50%	発表された住宅建設許可件数は前月を上回る内容。中銀が前週に利下げを見送ったものの、今後の利下げの確度が高いとの見方が強いこともあり、国債利回りは低下。ニュージーランドドルは対円で下落。	製造業PMIなどが発表予定。引き続き、米国など他の主要国の金融政策に関する動向や、世界的な通商問題から目が離せない中、債券・為替市場は一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.46% （▲0.02）	12.59円 （▲0.41%）	+2.5% 2019年1Q	1.25%	発表された製造業PMIは市場予想を下回った他、鉱工業生産は前年比マイナスの結果。米雇用統計を受け金利上昇圧力が高まったものの、国債利回りは小幅低下。ノルウェークローネは対円で下落。	GDP（国内総生産）やCPI、PPI（生産者物価指数）などが発表予定。月末のFOMCに向けた米金融当局のスタンスが意識されるなど、海外の市場動向に影響を受けやすい環境下、ノルウェークローネは一進一退の展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/5 (6/28との比較)	7/5 (6/28との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	7.34% (+0.11)	7.65円 (▲0.04%)	+0.0% 2019年1Q	6.75%	発表された製造業PMIは市場予想を上回った他、企業景況感は前月を上回る内容。ただし前者については引き続き好不況の分かれ目となる50を下回る水準にとどまる中、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	鉱物生産量や製造業生産などが発表予定。ラマポーザ大統領による政策対応や、数字で目に見える形での景気改善の動きが待たれる中、債券・為替市場は一進一退の展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.78% (▲0.09)	0.77円 (+0.59%)	+5.1% 2018年4Q	6.00%	発表された製造業PMIは前月を下回ったものの、CPIは市場予想を上回る内容。市場のリスクオンの傾向もあり、インドネシアルピアは対円で上昇。国債利回りは低下。	消費者信頼感指数などが発表予定。ジョコ大統領の政策や世界的な通商問題に注目が集まる中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.63% (▲0.14)	1.58円 (+1.17%)	+5.8% 2019年1Q	5.75%	発表された製造業PMIは市場予想を下回った他、サービス業PMIは約1年ぶりに50を下回る内容。政府が予算案提出に際し構造改革推進や投資拡大を表明したこともあり、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは低下。	CPIや鉱工業生産などが発表予定。引き続き、モディ首相の政策や米国との通商問題を巡る動きなどに注目が集まる中、債券・為替市場はともにレンジ内で推移する展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

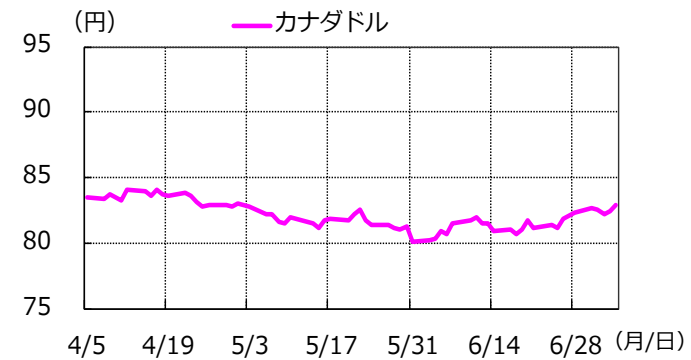
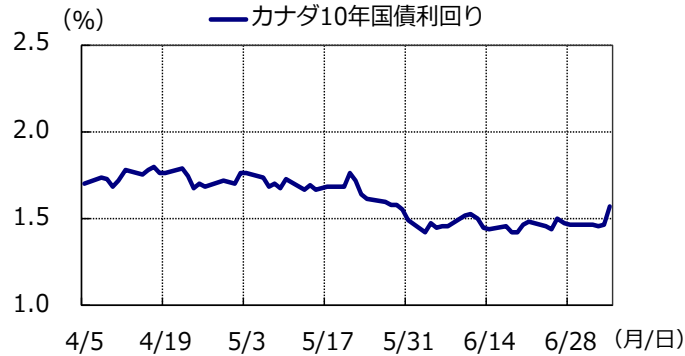
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

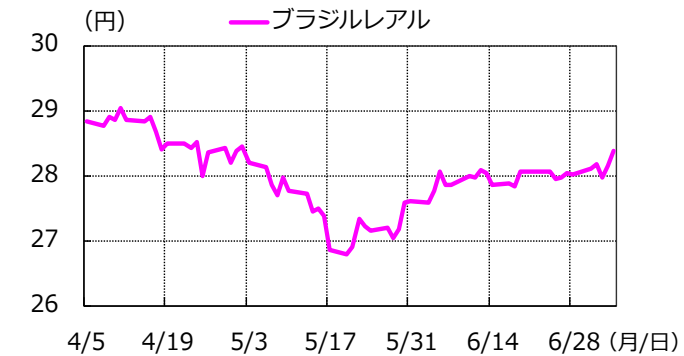
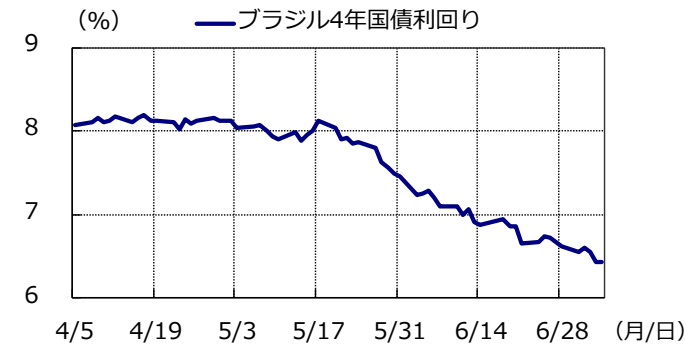
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/4/5～2019/7/5

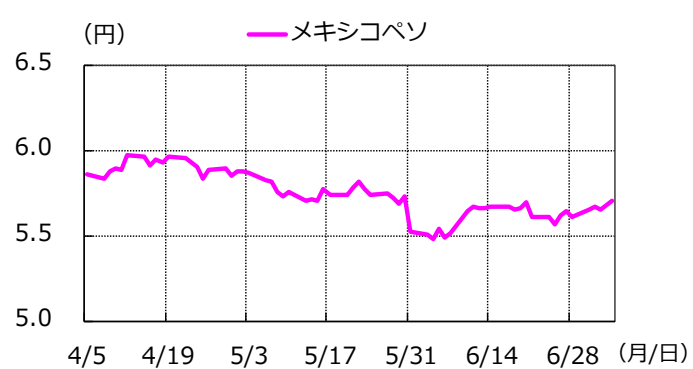
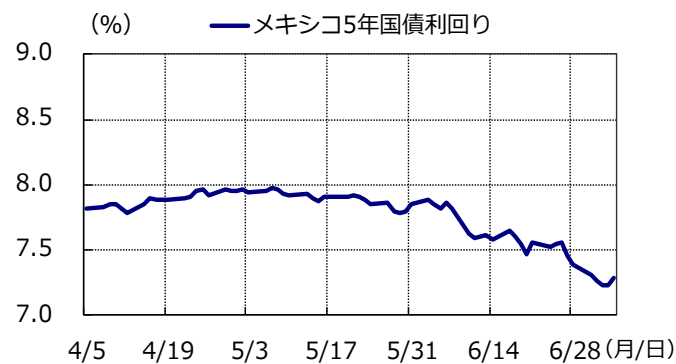
カナダ



ブラジル



メキシコ

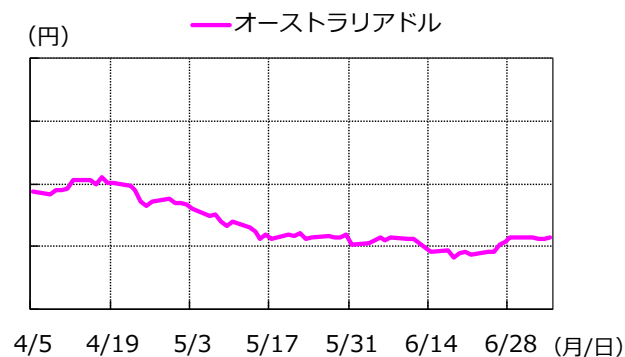
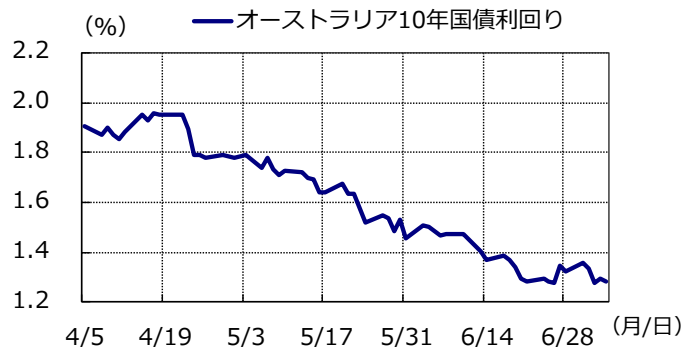


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

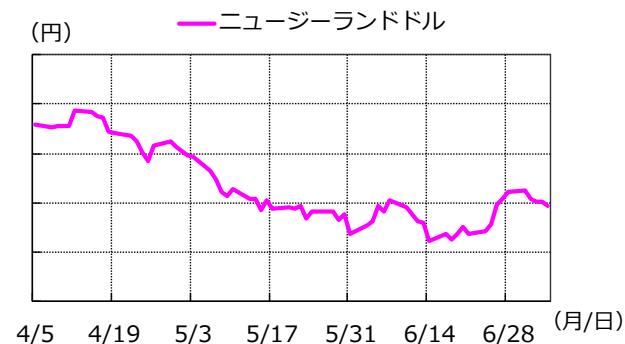
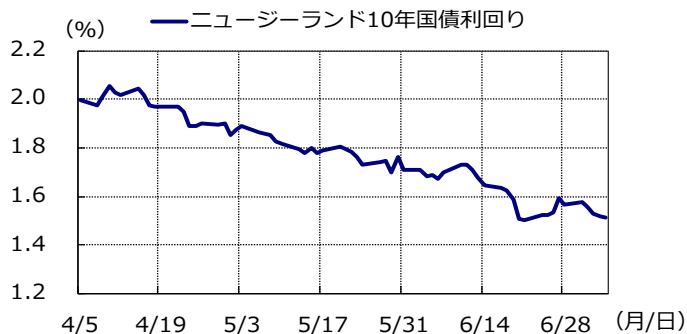
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/4/5～2019/7/5

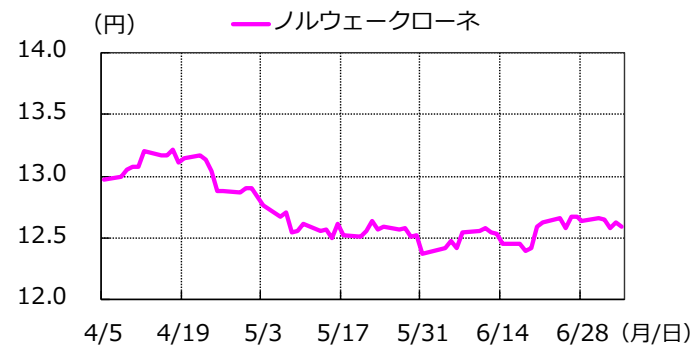
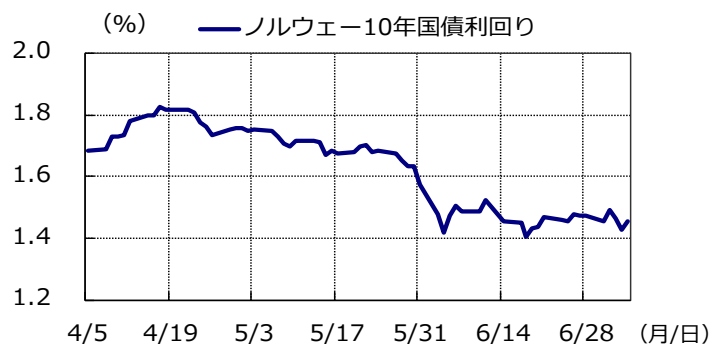
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

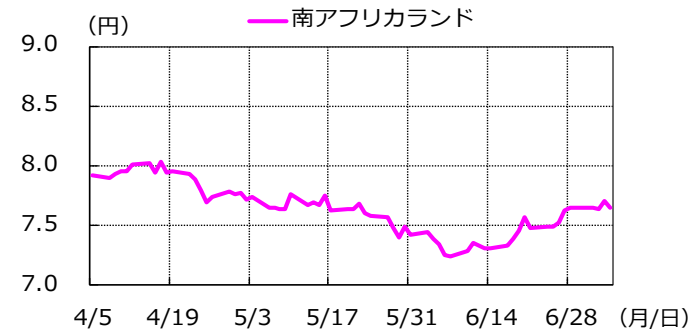
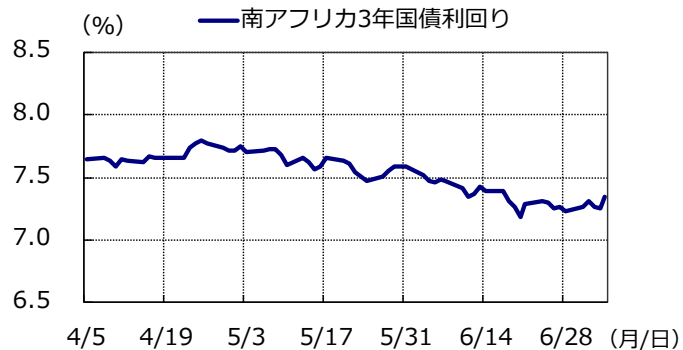


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

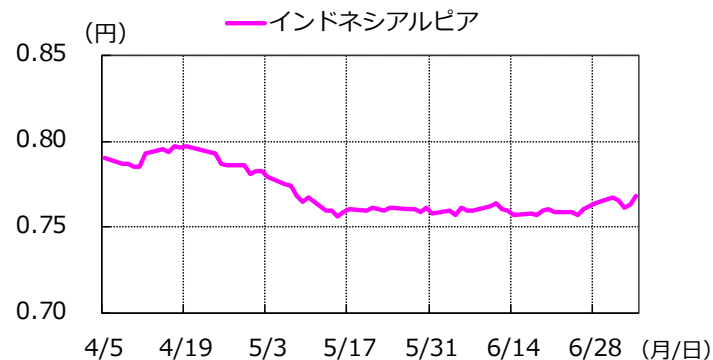
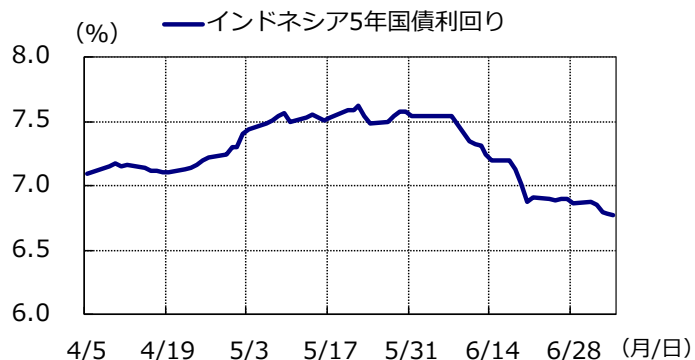
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/4/5～2019/7/5

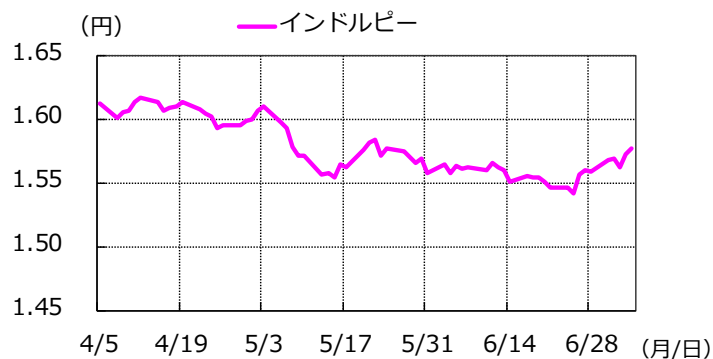
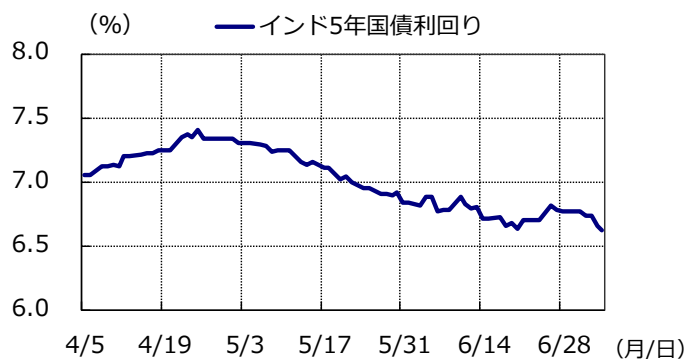
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%*（税込）

*消費税率が10%になった場合は、3.85%となります。

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.052%*（税込）

*消費税率が10%になった場合は、年率2.09%となります。

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。